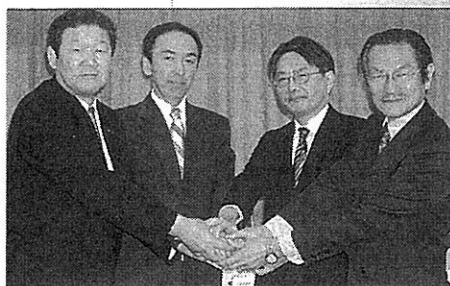


『ACKG・PCIG 合併会社 InterAct スタート 多様な立場で事業形成に寄与』

合併会社「InterAct」スタート

ACKグループ・PCIG

多様な立場で事業形成に寄与



ACKグループとPCIGの合併会社「InterAct」の設立式。左から長谷川PCIG社長、千葉InterAct社長、八島InterAct会長、廣谷ACKグループ社長

左から長谷川PCIG社長、千葉InterAct社長、八島InterAct会長、廣谷ACKグループ社長

ACKグループとパシフィック・コンサルタンツグループ（P・CIG）は1日、合併会社「InterAct」を設立した。同日、廣谷彰彦ACKグループ社長、長谷川伸一PCIG社長、千葉俊彦InterAct社長、八島雄一郎InterAct会長らが、

会長が東京・新宿区の京王プラザホテルで会見を行い、今後の抱負などについて語った。アジアに代表される海外の膨大なインフラ需要をターゲットに、官民挙げて「パッケージ型インフラ輸出」の取り組みが推進されている。しかし、本邦企業は、個別技術には秀でているものの、一貫したパッケージを形成することには不慣れであり、厳しい国際競争の下、苦戦を強いられている。

InterActは、国内外の民間事業、主に海外において民間企業等が参画する事業を対象に、パッケージ形成を実現する事業形成者として、事業関係者の連携、相手国との連携、技術的サポート等の機能を担う。また、案件によっては、事業の運営あるいは事業そのものに参画し、その際、必要であれば積極的に投資・出資も行い、事業を成功に導くとしている。

会見で、千葉InterAct社長は、「コンサルタント発の事業形成者として、多様な立場で事業形成に寄与する。事業形成の触媒、潤滑油、エンジンとなり、投資側やサービス提供側のアドバイザー、事業全体のコーディネーター、インテグレーターとなる」とし、「ライフサイクルを通じて全体品質を提供する」と述べている。

八島InterAct会長は、「挑戦の機会をもらった。これに報いるためにも、それぞれのDNAを引き継ぎ、一流の組織になりたい」と語った。廣谷ACKグループ社長は、「InterActは多くの役割を担い、我々の事業領域拡大には不可欠なものであり、海

外での競争力強化につながる」とし、長谷川PCIG社長は、「我々の持つ力を融合して、最大限活用し、市場のニーズに応えていきたい」と述べ、InterActの今後に期待を寄せた。